



枚方市立図書館通信第70号

<http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/sub-news/tayori.html>

発行：平成24年10月 枚方市立中央図書館（毎週金曜日・第4火曜日休館）050-7105-8121（こどものフロア）
〒573-1159 枚方市車塚2-1-1 TEL 050-7105-8141(代) FAX 072-851-0962

秋も深まり、本格的に読書の季節となりました。調べものやちょっと気になる本がある時、お気軽に声をかけてください。本を探すお手伝いします。

「読書の秋」はご家族おそろいで、図書館へお越しください。

●本の返却期限を守ってください

多くの方に読書を楽しんでいただくために、本の返却期限を守ってください。

貸出期限内なら電話で延長（予約がついていない場合のみ）も可能です。

※災害により貸出本が水濡れ等の汚損があった時は、図書館へ連絡してください。

★ことばにであう！ ひらかた暗唱大会

10月28日（日）開催。教科書から選んだ昔話や古文などを暗唱します。

※「中学生の調べ学習コンクール」11月広報で募集予定です。

詳細は中央図書館こどものフロアまでお問い合わせください。 050-7105-8121

●蓮根の花、ハスはお釈迦さまの花

泥の中で成長する蓮根は、穴があいた独特の形をしており、秋から冬が旬の野菜です。

花色が赤や白の東洋産と黄色のアメリカ産があり、食用は東洋産で根ではなく地下茎を食します。体を温めるので、風邪気味の時や咳止めにくず湯にして飲むとよいといわれています。

日本では、明治初期に経済栽培に向く品種が中国から入り本格栽培に至りました。

茨城県が有名ですが、門真市も蓮根の産地です。

蓮根の花ハスは、よどんだ

沼地で生育しても水面から美しい花が出てくるので、仏教では神聖な植物と考えられており「お釈迦さまの花」とも言われています。

ハスの種は固い殻におおわれているため、二千年以上前の地層から発見された種が発芽し、発見者の大賀博士の名が付けられた「大賀蓮・おおがはす」は、株分けされて今も栽培されています。



各図書館と分室の10月のイベント情報

○読書会

- 香里ヶ丘(図) 中高生読書会『赤毛のアン』
モンゴメリ・著／新潮社
➢ 10月20日(土) 午後3時 2階ホール
- 枚方公園分室読書会『ロジーナのあした』
カレン・クシュマン・著／徳間書店
➢ 10月26日(金) 午前10時半



○乳幼児向けおはなし会

- 中央(図) 10月10, 24日(水)
「0歳のおはなしひろば」午前10時半
「1歳からのおはなしひろば」午前11時10分
- 楠葉(図) 「はじめてのえほん」10月3日(水)
0歳：午前10時半 1歳から：午前11時
- さだ(図) 「おはなしいっぱいおはなし会」
➢ 10月17日(水) 午前11時



○工作など

- 東香里分室 工作「くりパッチン」
➢ 10月20日(土) 午後1時～4時
- 香里園分室 工作「静電気であそぼう」
➢ 10月20日(土) 午後1時～4時
- 釈尊寺分室 工作「おすし、だいすき」
➢ 10月17, 18日(水, 木) 午後1時～4時半
- 茄子作分室 工作「くろすけ参上！」
➢ 10月17日(水) 午後1時～4時半
- 氷室分室 工作「くりぱっちゃんをつくろう！」
➢ 10月18日(木) 午前10時半～午後4時半
- 宮之阪分室 工作「ふくろうぶえをつくろう」
➢ 10月18日(木) 午後2時～4時半
- 藤阪分室 「おばけライト」
➢ 10月27日(土) 午後1時～4時

○その他

- 中央図書館 「手話でたのしむおはなし会」
➢ 10月27日(土) 午後2時<毎月第4土>
- 香里園分室 「手話の会」
➢ 10月12, 26日(金) 午前10時半～正午
- 藤阪分室 「手話の会」
➢ 10月22日(月) 午前10時～正午

(全てのイベントは掲載していません。詳細は各館室まで。)



ふれあいルーム

絵本の読み聞かせや、遊びを通じて親子の交流や子育て仲間を作る場です。

- 中央図書館 毎週月曜日
- 香里ヶ丘図書館 第1・3(金)第2・4(木)
- 楠葉生涯学習市民センター 第2・4火曜日
- 菅原図書館 毎週日曜日
- さだ図書館 毎週木曜日(第3週は金)
- 牧野図書館 毎週金曜日
- 津田図書館 毎週水曜日
- 御殿山図書館 毎週金曜日

いずれも10時～12時30分(楠葉のみ9時30分～12時) 問合せ先 子育て支援室 072-841-1221代

～手話の本の紹介～

「誰でも手話リンガル」

(松森果林：著) 明治書院

聞こえない人は相手の口の形を見て言葉を判断しますが、読み取りの間違えはあります。

たとえば「キャンプ」と「シャンプー」。聞こえる人であれば、イントネーションや語尾で判断できるものの、聞こえない人には、口形(こうけい)はどちらもほとんど同じ。また、「水」をゆっくりと発音すると「ビール」と同じ口形になります。

人さし指と中指を使った2本足で、しっかり大地を踏みしめれば「立つ」という手話になります。

『まとめて覚えればカンタン』のコーナーでは、この「立つ」という手話が「立つ」→「歩く」→「迷う」→「びっくりする」→「転ぶ」→「緊張する」→「ジャンプする」→「落ちる」→「階段をのぼる」・・・と変化していく。

「立つ」という手話を覚えれば、動作を変化させるだけで、たくさんの手話を表現することができます。手話学習というよりも、手話を楽しむ本です。

※中央図書館5階では、障害のある方や高齢者の読書をお手伝いしています。お気軽にお問合せください。

050-7105-8156(障害者・高齢者サービス資料室)